

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成28年3月31日(2016.3.31)

【公開番号】特開2015-55901(P2015-55901A)

【公開日】平成27年3月23日(2015.3.23)

【年通号数】公開・登録公報2015-019

【出願番号】特願2013-187179(P2013-187179)

【国際特許分類】

G 06 F 3/0488 (2013.01)

G 06 F 3/048 (2013.01)

G 06 F 3/041 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/048 620

G 06 F 3/048 654 A

G 06 F 3/048 656 A

G 06 F 3/041 330 C

G 06 F 3/041 380 R

G 06 F 3/041 380 L

G 06 F 3/041 380 N

G 06 F 3/041 330 B

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月16日(2016.2.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表示機能を有するタッチパネルとデータ通信することが可能に接続してある情報処理装置により、タッチパネルに表示された文書を分割する方法であって、

前記文書中の異なる2点をユーザが指示することに応答して、当該2点のタッチパネルにおける位置を識別するステップと、

前記異なる2点を結ぶ線分を横切るように、ユーザが前記タッチパネルをなぞることに応答して、前記ユーザがなぞった線の始点、終点を延長した線分を分割線として前記文書を分割するステップ

を有する方法。

【請求項2】

前記延長した線分を表示するステップを含む、請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記分割するステップが、

さらに、前記2点をユーザが遠ざける方向にスライドせることに応答して、前記なぞった線の始点、終点を延長した線分を分割線として前記文書を分割するステップを含む、請求項1記載の方法。

【請求項4】

前記文書がテキストを含み、

前記分割するステップが、

前記テキストを構文解析するステップと、

前記構文解析からテキストの分割適合箇所を判断するステップと、  
前記分割適合箇所を境として、前記文書を分割するステップ  
を含む、請求項1記載の方法。

【請求項5】

前記構文解析からテキストの分割適合箇所を判断するステップが、文節もしくは文末を認識するステップを含む、請求項4記載の方法。

【請求項6】

前記文書が複数のグラフィック・オブジェクトを含み、  
前記分割するステップが、

前記各グラフィック・オブジェクトの中心を算出するステップと、

前記延長した線分で分けられた表示領域のどちらに前記中心があるかを判断するステップと、

前記判断の結果によって前記グラフィック・オブジェクトを分け、前記文書を当該分けられたグラフィック・オブジェクトを含むように2つの文書に分けるステップを含む、請求項1記載の方法。

【請求項7】

ユーザが第1文書の第1の点と第2文書の第2の点を指示することに応答して、前記第1文書と前記第2文書の辺を識別するステップと、

前記ユーザが前記第1文書もしくは前記第2文書の何れかの辺をなぞることに応答して、前記なぞった辺を結合辺として前記第1の文書と前記第2の文書を結合するステップを含む、請求項1記載の方法。

【請求項8】

表示機能を有するタッチパネルとデータ通信することが可能に接続してある情報処理装置により、タッチパネルに表示された文書を分割する装置であって、

前記文書中の異なる2点をユーザが指示することに応答して、当該2点のタッチパネルにおける位置を識別する手段と、

前記異なる2点を結ぶ線分を横切るように、ユーザが前記タッチパネルをなぞることに応答して、前記ユーザがなぞった線の始点、終点を延長した線分を分割線として前記文書を分割する手段

を有する装置。

【請求項9】

前記延長した線分を表示する手段を含む、請求項8記載の装置。

【請求項10】

前記分割する手段が、

さらに、前記2点をユーザが遠ざける方向にスライドさせることに応答して、前記なぞった線の始点、終点を延長した線分を分割線として前記文書を分割する手段を含む、請求項8記載の装置。

【請求項11】

前記文書がテキストを含み、

前記分割する手段が、

前記テキストを構文解析する手段と、

前記構文解析からテキストの分割適合箇所を判断する手段と、

前記分割適合箇所を境として、前記文書を分割する手段  
を含む、請求項8記載の装置。

【請求項12】

前記構文解析からテキストの分割適合箇所を判断する手段が、文節もしくは文末を認識する手段を含む、請求項11記載の装置。

【請求項13】

前記文書が複数のグラフィック・オブジェクトを含み、  
前記分割する手段が、

前記各グラフィック・オブジェクトの中心を算出する手段と、  
前記延長した線分で分けられた表示領域のどちらに前記中心があるかを判断する手段と

、  
前記判断の結果によって前記グラフィック・オブジェクトを分け、前記文書を当該分けられたグラフィック・オブジェクトを含むように2つの文書に分ける手段  
を含む、請求項8記載の装置。

【請求項14】

ユーザが第1文書の第1の点と第2文書の第2の点を指示することに応答して、前記第1文書と前記第2文書の辺を識別する手段と、

前記ユーザが前記第1文書もしくは前記第2文書の何れかの辺をなぞることに応答して、前記なぞった辺を結合辺として前記第1の文書と前記第2の文書を結合する手段  
を含む、請求項8記載の装置。

【請求項15】

表示機能を有するタッチパネルとデータ通信することが可能に接続してある情報処理装置により、タッチパネルに表示された文書を分割するためのプログラムであって、前記プログラムがコンピュータに、

前記文書中の異なる2点をユーザが指示することに応答して、当該2点のタッチパネルにおける位置を識別するステップと、

前記異なる2点を結ぶ線分を横切るように、ユーザが前記タッチパネルをなぞることに応答して、前記ユーザがなぞった線の始点、終点を延長した線分を分割線として前記文書を分割するステップ

を実行させる、コンピュータ・プログラム。